



青森県立八戸水産高等学校

進路通信 第1号

令和2年5月15日発行

文責 進路指導主事 根城 裕子



新年度を迎えて

新緑の季節は例年と異なり、コロナウィルスの猛威によるこのような状況下で迎えた新年度は、意義深い行事が次々と中止・延期になり、虚無感や焦りを感じている人も増えているように思われます。また、この長期にわたる停滞状態からの回復には時間がかかり、特に3年生の進路に影響が出る事が予想されています。

保護者の皆様にとりましても、特に1年生の保護者の皆様には不安が募るばかりかと拝察いたします。生徒の安全・安心を第一に考えての学校再開ですが、いつ臨時休業に転ずるかもしれないという落ち着かない状態は継続しています。しかし、生徒が自己を見つめ直し、将来について真剣に考える機会となることを願い、一人ひとりが志望進路を実現できるように努めて参ります。今年度も、進路指導へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第1回進路希望調査から

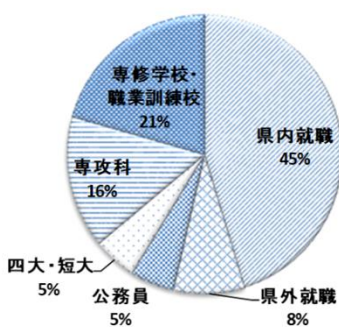
第1回進路希望調査を実施しましたので、グラフを参照しながら状況をお知らせします。

各学年とも進学希望者約40名が全体のほぼ4割を占めていることが共通点として挙げられます。県外就職にあっては、3年生は例年と比較しても多いのですが、反して1・2年生の少なさは地元志向への高まりが表れているようです。

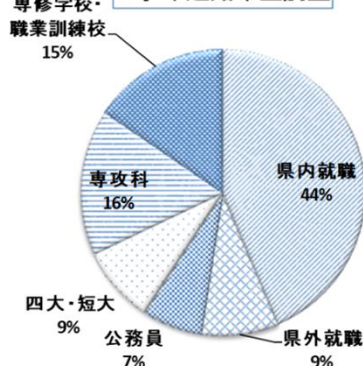
日本経済の不透明な先行きは、今後の進路活動にどれほど影響を与えるのか予測がつかない状況にあります。思い描いてきた生徒一人ひとりの進路実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

特に3年生は、7月1日の高卒求人票公開を皮切りに履歴書や面接指導など本格的な活動が始まります。進学希望者も入学試験まで積極的に講習や添削課題で学力を伸ばしましょう。そして、1・2年生も資格取得が進路選択の幅を広げますので、様々な資格にチャレンジしましょう。

1学年進路希望調査



2学年進路希望調査



3学年進路希望調査

